

ジョイフル城北 スマイル城北



令和6年度 学校だより

ジョイスマ

令和7年1月9日

熊本市立城北小学校

校長

明けましておめでとうございます 本年もよろしくお祈りします。

明けましておめでとうございます。今年の年末年始は昨年同様暖かくて過ごしやすかったですね。また、昨年の石川県能登半島地震のような災害もなく、穏やかなお正月を迎えることができましたと思います。ただ、不思議と学校が始まると寒さが厳しくなります。今週は熊本地方にも雪の予報が出ています。ご注意ください。

さて、3学期の始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

みなさん、明けましておめでとうございます。いよいよ今日から3学期が始まります。そして同時に令和7年が始まりました。みなさんはどんな冬休みを過ごしましたか。夏休みと違って冬休みは家庭での行事

がたくさんあったかもしれません。例えば、お家の大掃除をした人、餅つきをした人、初詣に行った人、親戚のお家を回った人、行事が多い楽しい冬休みだったと思います。

さて、今年の干支を知っていますか。干支は12あり、子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥の順で、今年はその中の6番目の巳「み」です。巳とは、蛇のこです。蛇は足がなくて、クネクネしているので「気味が悪い」という人が多いですね。しかし、今から約2000年前、詳しくいうと西暦57年に中国の漢という国から日本の奴の国王に金のハンコが送られました。そのハンコのつまみが蛇の形をしています。それはなぜかという、当時、日本はお米を作る時代になっていて、お米はとても貴重でした。村人たちは、貴重なお米を食べるネズミに困っていました。そのネズミを食べるのが蛇です。つまり蛇はお米を守ってくれると当時の人たちは考えていたからです。

また、蛇は脱皮を繰り返しながら成長していく生き物なので、生命力や再生があるシンボルと考えました。さらに「蛇の意味の巳」と「実がなるの実」をかけて「実(巳)入りする」という意味になり、金運(お金の運)にもつながると考えました。だから、日本で蛇は、金運や運気を上げる生き物として定着しています。

3学期は、4月からの新学年への進級や中学校へ進学を目指す学期です。まさに、元気もりもりの運気で、やる気満々、一皮むけて次の学年に上がるという今年の巳年は、成長期のみなさんを表すぴったりの干支です。

昨年、パリオリンピックで陸上の女子フィールド競技「やり投げ」で初めて金メダルを取った北口榛花(はるか)選手を知っていますね。北口選手は、中学校まで水泳とバドミントンに取り組んでいたそうです。北口選手は、特に目立つ選手ではなく普通の選手でした。北口選手は高校に入っても水泳を続ける予定でしたが、陸上の先生に誘われて陸上部に入り、やり投げに取り組みました。やり投げを始めてわずか1年。高校2年生の高校総体(高校の全国大会)に出場したとき、北口選手は蛇の脱皮のように一皮むけました。やり投げは助走が必要です。その助走の長さを自分で調整し、コーチの考える助走距離より短めました。するといい記録が出て逆転優勝、高校チャンピオンになったそうです。北口選手のようにみなさんも、あることをきっかけに一皮むけるときがあると思います。

3学期は、一年の中で一番短い学期です。一日、一日を大切に過ごし、これまで学んだ学習を確実に身につけてください。そして、4月から一つ上の学年に、そして、中学校へ、運気の上がる蛇のように、みなさんも一皮むけて成長して行ってほしいと思います。

今の学級で友達と過ごすのもあと3か月です。友達ともっと仲よくなってください。まとめの3学期をみなさんが「ジョイフル城北」「スマイル城北」で頑張り、今の殻を破り脱皮し成長しながら、目標に向かっていくことを期待しています。

